

～周南たこのタッチングプール～

イベントで使ったタコは地元の漁師さんに協力していただき当日の朝に捕ってきていただきました！



イベント当日はたくさんの家族連れや子供達が遊びに来てくれました



タコはとても生きがよく、桶や水槽の中を動き回っていました



最初は触れなかった子ども徐々に触れるようになりました



吸盤を触ってみたり・・・



周南たことは

周南たことは、桑原漁港をはじめ周南近海で獲れる「しゅうなんブランド」として認定されているマダコのことです。周南たこは瀬戸内の入り組んだ地形と複雑な潮流が発生する場所に生息しているので、小ぶりでも足が太く、良好な餌を食べて育っているので味が濃厚だと評判です。伝統的なタコつぼ漁で漁獲されます。

タコつぼ漁とは

タコつぼ漁は、60個ほどで1セットになった壺を、磯の周辺や砂利場に仕掛けます。昔は素焼きの壺が使われていましたが、最近はコンクリート製やプラスチック製のものが多く使われています。壺の中に、タコの餌となる、カニなどが入っていて、タコが入ると蓋が閉まる仕組みになっているのが最新式のもので、タコつぼの口が海底を向くようにして10～20セット仕掛けたら、1日置きくらいに船で揚げに行き、タコが入っているかどうかを確認します。つぼを揚げるときに落ちてしまういそうですが、タコは何かにしがみ付いている習性がありますので簡単には落ちないそうです。